

プロジェクト1 「社会連帯とアート」フォーラム

日時 2019年11月3日(日) 13:00~15:00

会場 近畿ろうきん肥後橋ビル12階メインホール(大阪市西区江戸堀1丁目12-1)

障がいのある人をはじめ、様々な困難に向き合う人たちがアートをとおして、つながりを取り戻していくことの意義を語り合いました。

①イントロダクション

播磨靖夫さん<一般財団法人たんぼぼの家 理事長>

「ひと・アート・まち」を開催するにあたり、市民が芸術文化活動を楽しみ、発信していくことの意義について、その根底にある阪神大震災の経験を経て、「新しい時代に新しい文化を」という思いのもと生まれた「エイブル・アート・ムーブメント」の理念を紹介。アートの社会化、社会のアート化といキーワードをもとに話しました。また、ひと・アート・まちの立ち上がりから、障がい者アートという狭いジャンルではなく、社会を変革する文化芸術活動を目指し、生まれた取り組みだったことなどを紹介しました。

②基調講演

吉川由美さん<有限会社ダ・ハ・プランニング・ワーク代表取締役>

東日本大震災の前後に、宮城、青森を拠点に市民の生きる力をアートで支えてきた吉川さんをお招きしました。地元の切り子という切り紙の手法をもとに、地域に生活する人たち一人ひとりが語るべき物語をもち、その手法さえ伝えれば誰もが表現者になる、という事例をつくってこられました。震災後も地元の生活者に寄り添い、対話を続けてきた吉川さん。表現という手段がその人たちにとってかけがえのないものになっていったプロセスを写真と動画で丁寧に解説しました。青森県八戸市の「はっち」という文化施設では、建設前に反対住民が多かった状況を、地域向けのアートワークショップや写真家とコラボしたプロジェクトにより「まちになくてはならない存在」に。日頃当たり前と思っている風習や季節行事のユニークさをあらためて実感するアートプロジェクトを実施し、自分たちのまちに誇りをもてるような意識を高める実践について、具体的にお話いただきました。特に震災前後の場面の話では、会場内からも嗚咽が漏れるなど、感情を揺さぶる講演となりました。

③プレゼンテーション「社会とアートの橋渡し」

岡部太郎さん<一般財団法人たんぼぼの家 常務理事>

2000年から続けてきた「ひと・アート・まち」プロジェクトを振り返り、近畿各地で生まれた出会いとつながりを共有、当日展示していた「プライベート美術館」「世間遺産」など、代

表的な取り組みを、映像などを交えて紹介しました。最後に、2020年以降に予定している新プロジェクトについてプレゼンテーションをしました。



一般財団法人たんぼぼの家理事長 播磨靖夫さん



一般財団法人たんぼぼの家常務理事 岡部太郎さん



有限会社ダ・ハ・プランニングワーク代表取締役 吉川由美さん



吉川さんの企画した切り子の作品展示